

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
傘を使って、玉入れをしよう	小	交流学习 （特別活動）	馬着 桂子

<ねらい>

- ・グループの友達同士で関わりをもつ。
- ・グループの傘を作ったり、玉入れをしたりすることを楽しむ。
- ・グループで協力しながら取り組む。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ※奈良東の児童は、事前に傘を使っての玉入れを経験しておく。
- ※奈良東の児童1名と六条小学校の児童数名で1つのグループとする。

①傘作り

- ・グループごとに、ビニール傘1本とカラー油性ペン数色を配る。
- ・グループの傘を協力して作ることを伝え、開始。奈良東の児童が好きな絵を描いてあげてもよいことを六条小児童に伝える。
- ・描くことが一段落してきたら、カラーテープやシールを示して使っても良いことを伝える。



②玉入れ

- ・傘をひっくり返して吊り、カラーボールを使って玉入れをする。
- ・六条小の児童は傘に入れることができず、奈良東の児童にボールを手渡すだけというルールとした。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・事前に学級活動で傘を使っての玉入れに取り組んでいたため、当日は戸惑うことなく取り組めた。
- ・事前活動で100円均一の傘は、すぐに壊れてしまったので、当日は1本500円程の傘を使った。
- ・どの児童も自分の傘に愛着をもっていて、事後活動では、それぞれ自分の傘を手にとっていった。
- ・グループで1本の傘を使ったので、描く中でやりとりが生まれたり、玉入れのときにボールを手渡すことで関わりが生まれたりした。
- ・カラーボールとビニール傘を使ったので、ボールがたまる様子を見ることができた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・ビニール傘 5本
- ・油性ペン数色 5セット
- ・カラーテープ
- ・●シール